

## 【ビジネスの基本、成功するために!】37

2008年12月・提言  
『語ろう会』会長：小川 正

## 『自己の、素養を磨こう!』

家庭教育に誤りあれば、学校教育で補うこと難し/学校教育で誤りあれば、社会人教育で補うこと難し

## ●個人の資質・育った環境認識し、自覚の上で己を見つめ・磨く!

「家庭教育」とは、親がその子に家庭内で、言葉や生活習慣・コミュニケーションなど生きていく上で必要なライフスキル(生きていくうえでの技術)を身につける援助をしてやること。人間らしく生活できるための、最も基本的な段階の教育として、乳幼児の段階より段階を追って教育していく行為である。

それらは連綿と親から子へと習慣的に引き継がれていった行動様式であるに過ぎない。

「学校教育」とは、学校で行われる教授言語による教育。

世界の各国では、独自に学校教育が行われており、その性質はさまざまである。

1. 国家及び社会の有為な形成者として、必要な資質を養うこと。
2. 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な技能に習熟させること。
3. 社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努めること。

「社会教育」とは、社会において行われる教育のことである。

社会教育法＝学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む)をいうとされている。

上記の3教育はそれぞれ独立したもので補完できる関係はない、それらの教育を受けた個人(大人)の中で更に育み自己の行動・活動に努力を積み重ねて、それに経験を加えて磨きを掛けて活かして光り輝きましょう。

①宗教は、宇宙の真理を内視したもの! / 化学は宇宙の存在を証明したもの。

②“Best”は、無い! / 無駄の無い・油断の無い“More Better”を追求する。

③語彙が分からなければ、考えられない! / 言語を理解した者にしか分からない。

こんな見解も成人として、自己教育を続けた方の語録でございましょう。

ノーベル文学賞を受賞した川端康成氏は、受賞当事に下記の発言をされていましたね。

## 「審査員は日本語が分かって居るのだろうか? 他国語翻訳書では理解できないだろうに?」

語学をマスターしていなければ、「考える」だけでなく「覚える」事も出来ない、当然グローバルに活躍する方々は英語・中国語・フランス語など、関係する語彙をマスターされていなければ業務遂行できない。…教育を受けるのではなく、自分自身が勉強をすることですね!

60歳を過ぎた私自身にも、先日前お恥ずかしい事がございました!

我が女房殿との会話の中で、内容理解が噛み合わないのです。

「イントク」と言う言葉の解釈で、大きな食い違いがそのまま解決せずに翌朝辞書などを調べて、初めて理解に至るのです。

私自身は「隠匿」をイメージして居て、女房殿は「陰徳」を伝えようと発言していたのですが、私自身はこの歳になるまでの生活環境の関係が「隠匿」しか思い浮かばなかったのです。

情けない話で、しっかり記憶に留めるためにインターネット検索で理解を深めて、昨夜の話内容がつながりました。

## 『知らずして多くの人に幸せを与えることを“陰徳”という』

陰徳を積むには、“知らずして”が肝心のようです。

幸せを与えようと思ってやる行為は、欲望になってしまって陰徳にはなりません。

“知らずして”というのは、幸せを与えようと思わないで、自分で良かれと思ってやったことが、結果として多くの人に幸せを与え、かつ、一切の見返りがなかった場合に限ってのみ陰徳を積むことになるようです。

せつかくの良い行為でも見返りがあると相殺されてしまって、陰徳にはなりません。

“ギブ&amp;テイク”が当たり前になっている世の中で、“ギブ&amp;ギブ”を実践して生きたいものでございます。

隠匿と間違わないように! …「目目に触れないように隠しておくこと。」「隠れた悪事。心の中に持った罪悪。」